

# 市政に対する

# 一般質問

各質問議員の  
QRコードからは、  
それぞれの一般質問の  
動画をご覧いただけます。



大瀧 和弘 議員

- 令和8年度当初予算について
- ふるさと納税の取り組みについて
- 子育て支援施策について
- カーボンニュートラルの実現に向けての取組について
- 学校給食の無償化について



一般質問はこちら

## 令和8年度当初予算について

### 代表質問

令和8年度は中村市長就任後初めての予算編成であり、「選ばれた都市もおか」の実現に向けたまちづくりと、健全な財政運営の維持との両立に苦心されたと推察します。

本市がさらなる発展を遂げるため、積極的な施策の展開が期待されるところでありますが、当初予算における新規事業や重点事業について、その内容と特徴について伺います。

### 答弁

令和8年度当初予算の主な新規事業・重点事業は、小中学校給食費無償化、全中学校と真岡小学校の体育館空調設備工事、児童育成支援拠点事業実施、消防水利未整備地の簡易水槽設置、いちごハウス自動換気装置設置の補助拡充、中心市街地リノベーション推進などであり、『みんなが主役！次世代をはぐくむまちづくり予算』として編成に努めました。



大隈 広郷 議員

- 在留外国人の地区別人口と対応について
- 外国人の国民健康保険税の前納制度について



一般質問はこちら

## 外国人の国民健康保険税前納制度について

### 質問

2025年10月末、厚生労働省は、外国人等が国民健康保険に加入する際、賦課年度の1月1日時点で日本に住民登録のない世帯主を対象として、国民健康保険税を前納させることができるよう、条例改正例などを示しました。本市では、この制度の導入を検討しているのか、導入するならばその理由についても伺います。

### 答弁

本市の国民健康保険に占める外国人被保険者の割合は、全国と比較しても高い状況でありますので、前納制度を導入したいと考えています。既に国民健康保険運営協議会に諮問し、承認の答申をいただいておりますので、令和8年度にシステム改修を行い、導入してまいります。



須田 正彦 議員

- 災害時の避難行動要支援者への対応について
- こども発達支援センターひまわり園について
- 柔軟な平和教育について



一般質問はこちら

## 機能別消防団員の導入について

### 質問

機能別消防団員制度は、特定の活動や役割に限定して参加する消防団員制度です。令和6年度消防白書によると、全国で750の自治体がこの制度を導入し、地元の現状を知る消防団のOB、企業、団体、大学生など様々な方が特定の消防活動や時間の許す範囲で活動に参加をしているそうです。

消防団員不足に対して、本市でも機能別消防団員の導入をしてはどうか伺います。

### 答弁

機能別消防団員の導入については、消防団正副団長、各分団長、5地区の区長会会長、真岡消防署長及び、学識経験者である宇都宮大学准教授の計17名で構成する、真岡市消防団活性化検討委員会において、その役割、報酬、装備や指揮命令系統などの課題を整理し、導入の必要性を令和5年度から検討しており、今年度中に市長に対し検討結果を提言する予定です。

## ネットリテラシー(SNSリテラシー)について



上原 暁一 議員

- 学校におけるいじめ問題について
- 学校給食について
- 猫の適正飼養に関する市の啓発の取り組みについて



一般質問はこちら

### 質問

近年、SNSなどネット環境の中で誹謗中傷などの事案が多く見られ大きな問題となっております。拡散による二次被害・三次被害も確認され、デジタルタトゥーとして、その後の人生に影響を及ぼすこともあります。この様にネット環境問題への取組は、児童生徒が健全な学校生活を送るため重要です。ネットリテラシー(SNSリテラシー)について、現在どのような指導・教育を行っているのか伺います。

### 答弁

小中学校のネットリテラシー教育は、情報の真偽を見抜く重要性や、適切なコミュニケーションについて計画的に行っています。また、情報教育担当教員に「情報モラル研修会」を実施し、指導法や教材の共有をしています。あわせて、保護者の理解・協力も不可欠であるため、インターネット利用のルールを各家庭で作るなど、児童生徒を守る取組を保護者会で周知するほか、研修会を実施するなど理解を求めています。

## 有機農業を推進する上での取組みにについて



七海 朱美 議員

- 皆歯科健診について
- 災害に強いまちづくりについて
- 有機農業について
- 学校給食の無償化について



一般質問はこちら

### 質問

平成26年度に栃木県農政部が実施したアンケートにより、有機農産物に対する社会ニーズの高さ及び学校給食向けの販路拡大等が期待されており、積極的な有機農産物の生産振興を図ることの重要性が認識されています。真岡市では、セミナーの開催などを実施されておりますが、今後、更に有機農業を推進していく上でどのような取組を考えているのかお伺いします。

### 答弁

地域ぐるみの取組の推進と成果の普及拡大を図るため、令和8年3月に国や県などの関係機関をはじめ生産、流通、消費の各分野で構成したメンバーによる推進会議を開催し、環境負荷低減の促進に向けた意見交換や情報共有を行い、関係者とのより一層の連携強化を図っていきたいと考えております。加えて、引き続きセミナーを開催し、有機農業に取り組む生産者の裾野拡大に向け取り組んでまいります。



小川 美穂 議員

- 障がい児の日中一時支援事業について
- 真岡市総合学力調査事業、学力向上推進事業について
- 複合交流拠点施設 monaca における展示と自主事業について



一般質問はこちら

## 複合交流拠点施設 monaca における自主事業について

### 質問

令和8年度の施政方針において、「真岡まちづくりプロジェクト」は monaca が設立した一般社団法人つむぐへ移行し、官民連携のもと市民主体のまちづくりを進める方針が示されました。市は共同事業として支援しており、民間の力を生かした施設運営や自主事業により、市民活動や交流の機会が創出されるなど意義は大きいと考えます。一方で、公費を伴う取り組みであることから、多様な市民に開かれた運営が重要であり、今後の自主事業の展望について伺います。

### 答弁

自主事業については、基本協定に基づき、市の承認を得た上で、指定管理者が実施しています。今後の自主事業については、令和7年度に実施したライブラリーフェスティバルや真岡工業高等学校との連携協定による事業などを来年度以降も継続していくとともに、複合施設の特色を生かした学びと交流の場を提供し、市民が主体となって参画する事業が展開されるよう、指定管理者と連携を図っていきたいと考えています。

## 議員コンプライアンス研修会を開催

令和8年1月16日、元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田 一夫さんを講師に招き、『議員のコンプライアンス～「やるべきこと」と「やってはいけないこと」～』と題して、議員活動やSNS上での情報発信等において法令・倫理を遵守し、市民の信頼を損なわない行動について理解を深め、議員の質の向上を目的に、研修会を開催しました。



### 1. SNSを利用する際の注意点

SNSは不特定多数が行き交う「公の場」であることを念頭に置き、投稿する前に自分の意見として堂々と言えるものなのか、自らに問いかけることが必要である。

### 2. 寄附の禁止

議員は、選挙区内にいる人に対するいかなる寄附も禁止されている。

### 3. ハラスメントの防止

ハラスメント行為を行わないようにするには問題意識を共有することが重要である。